

## 設立趣旨書

### 1 趣旨

我が国は少子化・人口減少社会に突入し、徳島県海部郡牟岐町をはじめとする過疎地では人口流出と高齢化が進み、地域の未来を担う子ども・若者の数が急速に減少しています。さらに、不登校や中退、ひとり親家庭、経済的困難など、さまざまな背景をもつ子どもたちが増え、安心して学び、挑戦する機会や孤立した親や周囲の声を拾い上げる支援体制が必要になっています。

私たちは、こうした声なき声に耳を傾け、子ども並びに地域で支援を必要とするひとに対して、「今」と「明日」と「未来」をともにてらす活動を行います。居場所・学び・多様な経験の機会を届けるとともに、地域や学校、家庭など子どもを取り巻く環境への働きかけを行い、一人ひとりの可能性が広がる社会をつくります。

これらの活動は、特定の個人や団体に限定せず、徳島県を起点に広範な地方圏の子ども・若者等の福祉向上を目指すものであり、不特定かつ多数のものに利益を寄与するものです。また、行政・学校・地域団体との継続的な協働と活動の持続的な発展のため、高い社会的信頼性と透明性を確保できる特定非営利活動法人（NPO法人）の法人格を取得することが必要となりました。以上の目的を達成するため、ここに特定非営利活動法人うみのこてらすを設立します。

### 2 申請に至るまでの経過

2021年頃、地域の大人や有志が中心となり、不登校や孤立傾向にある子どもへの学習支援と居場所活動をボランティアベースで開始しました。その後、2023年に一般社団法人うみのこてらすとして法人化し、徳島県南地域の学校や行政機関と連携しながら伴走支援を拡充。徳島市に中高生フリーカフェ「ゆうてらす」を開設し、都市部と過疎地をつなぐハイブリッド型支援を展開しています。

こうした活動を進める中で、子ども・若者支援は中長期的かつ継続的な関わりが不可欠であり、より一層の公益性・透明性・社会的信頼性を備えた法人格の必要性を強く感じるようになりました。特定非営利活動法人へ移行することで、不特定多数の利益に資する公益的活動であることを明確に位置づけ、事業運営や会計情報の公開を通じて、地域住民や支援者、行政等からの信頼を高めることが可能となります。

さらに、行政との協働事業や助成金等への申請機会が広がり、活動の安定性と持続性の向上が期待されます。以上の理由から、一般社団法人から特定非営利活動法人へ移行し、地域に根ざした子ども・若者支援を継続的に展開していくため、本法人を設立するに至りました。

2025 年 12 月 16 日

特定非営利活動法人うみのこてらす

設立代表者 川邊笑